

2024年度版(令和6年版)

新規就農者向け パンフレット

た・む・ら

たのしく

むりない

ライフ
ワーク

田村地域で、はじめよう!!
新しい農業の「カ・タ・チ」
ふくしま「た・む・ら」



01 ▶ 田村市

TAMURA
CITY

新規就農者紹介



狼ノ神農園
白岩 洋さん(40)

出身地…田村市
就農年度…令和2年度
経営内容…
(就農時) ミニトマト8a
(現在) ミニトマト22a、
ふきのとう10a、
ブロッコリー15a

就農しようと思った経緯

東京に勤めていたが、両親が元気なうちに地元に戻ったほうがいいと考えていました。その際に、祖父が農家だったこともあり、機械や農地もあるから農業も職業としていいと思いました。就農フェアに参加し、研修や就農への支援もあることが分かり、魅力を感じました。同じ年代の人たちが活躍しており、就農することへの不安はありませんでした。



Q

就農時に苦労したこと



農業の知識がなく、計画作成が大変でした。しかし、悩むのが大変だったおかげで、後悔は少なかったです。先輩農家から失敗談も含めて話を聞き、ほ場も見せてもらいました。1回しか始まりはないからしっかりと自ら行動し、いろいろな話を聞いたうえで、自分のちょうどいいを見つけられたようにした方がよいと思います。



- 活用した事業 / • 農業者スキルアップ支援事業（市） • 農業次世代人材投資事業（経営開始型）（国）
• 原子力被災 12 市町村農業者支援事業（国） • 新規就農者経営発展支援事業（市）

※事業名は就農当時のものであり、現在の事業名や内容、要件等と異なる場合があります。

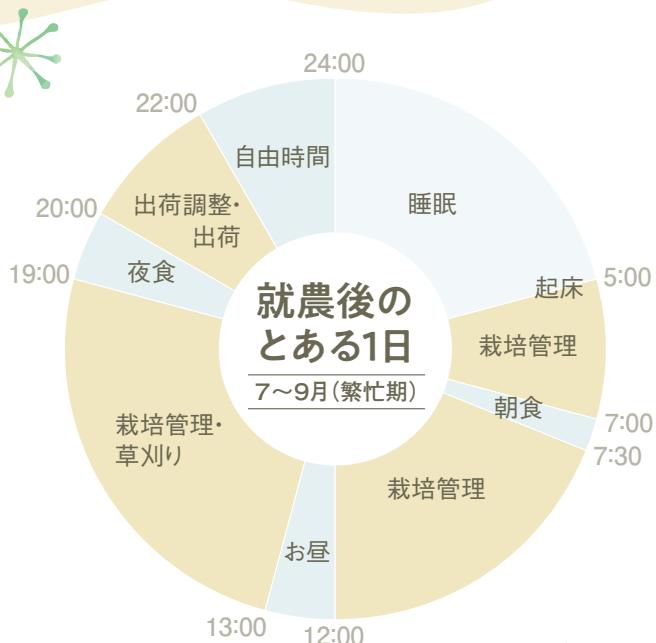


Q 農業の魅力や、やりがいを感じること

自分の裁量で何でも行うことができ、スケジュールも組みやすいです。また、地元に農業の先輩や仲間があり、刺激をもらうことができます。他にも、購入者や食育を通じた学校関係者など異業種の方ともつながることができることも魅力です。

Q 就農前の想像とちがったこと

就農前に先輩農家の話をたくさん聞いて、ほ場を見学して、いろいろ悩んで準備をしてきたのでギャップは感じませんでした。土、気候、環境が違うので自分で実際にやってみてPDCAサイクルで乗り越えていくことが大事です。良いギャップとしては、農業は山に籠ってもくもくとする仕事だと思っていましたが、実際は人ととのつながりで成り立っている仕事だと思えたことです。



Q 今後の目標

正直、農業に対する目標はなく、今の経営を維持していくならと思っています。農業は「お腹も心も懐も豊かにできる仕事」。ここを友人たちの田舎にしてあげたいですね。そして、ここには農業があるくらいがある。経営規模の拡大だけでなく、どういう生活をするか、いかに豊かな生活をするか、大切にていきたいです。



advice

新規就農者へのアドバイス

就農前は農業についていろいろな想像をするけど、始めてみるとギャップがあります。就農を考えている地域の農家の話をしっかりと聞くことが大切です。実際に行動して、見て、聞いて、体験することで不安をなくすことができます。自分に合った農業のスタイル、始め方をしてほしいです。

02 ▶

三春町

MIHARU
TOWN

新規就農者紹介



黒羽 実樹さん(35)

出身地…三春町
就農年度…令和5年度
経営内容…ピーマン
露地12a



就農しようと思った経緯・理由

農業は前から興味を持っていましたが、30歳を超えたあたりから、今後長く働くにあたり、自分の裁量やタイミングでできる仕事、自然の中で働ける仕事をしたいと思い、農業を選びました。

研修

- 活用した事業／・農業次世代人材投資事業交付金（就農準備型）（国）
- 研修場所／・グリーンファーム込木

※事業名は就農当時のものであり、現在の事業名や内容、要件等と異なる場合があります。

Q

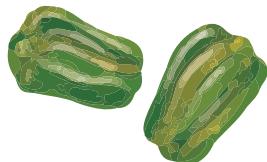
研修をやってみて

最初は、農業求人サイトを活用し、田村市の農家さんの元で1年間アルバイトしながら農業について学んでいました。その際、三春町のピーマン農家さんを紹介され、1年間研修させてもらいました。研修では年間の作業スケジュールや基礎知識、技術を学ぶことができとても参考になりました。就農1年目は、ほ場準備や栽培期間を通して研修元のサポートをいただけてとても心強かったです。研修先が同じだった別の研修生とは、お互いほ場で、協力して作業をしたり、所有している機械の貸し借りをしたり助け合っています。

Q

実際に 就農してみて

就農する前、農業はのんびりしているイメージを持っていましたが、実際に就農してみたらとても忙しいとギャップを感じました。



advice

新規就農者へのアドバイス

○資金が必要！

補助金や制度資金の活用をしましたが、自身での手出しも多くありました。特に初年度は、経費がかかりますし、収入があっても全て支出していました。自己資金をしっかり用意しておくことが重要です。

Q

苦労したこと

実家が非農家ということもあり、農業に必要な機械や設備をもっておらず、全て自分で用意する必要がありました。農業機械や資材の購入により、想定していたよりも初期投資が大きかったです。



○研修が重要！

研修を行うことで、栽培に関する知識や技術を身に着けるだけでなく、必要な資材や設備も学ぶこともできました。



03▶▶ 小野町

ONO
TOWN

新規就農者紹介



U
ターン

Floating
Gold Farmers

荒谷 瑞穂さん(52)

就農年度…令和3年度

経営内容…

ピーマン露地15a、

トウモロコシ15a、

スナップエンドウ4a、

水稻40a



就農しようと思った経緯

帰省する度に目にする耕作放棄地が気になり、農業に関心を持つようになりました。耕作放棄地の解消と次世代に農業をつなぐお手伝いができるばとの思いから就農を決意しました。

就農までの経過

高校卒業後東京で進学、就職、結婚しましたが、夫の転勤で仙台に引っ越したのをきっかけに帰省の機会が増えました。子育てがひと段落したタイミングでUターンし、農業関連の会社でアルバイトをしながら情報収集をしつつ農業短大の研修などをを利用して就農の準備をしました。

Q 農業の魅力や やりがいを感じること

自分の作った野菜を美味しいと食べてもらえることが一番のやりがいです。

ピーマン嫌いのお子さんが、私の育てたピーマンを食べて「ピーマンが食べられるようになりました！」とお手紙をくれたのが何より嬉しかったです。自然の中で人間関係のストレスなく働け、日々の作業に達成感を積み重ねていけるところも魅力です。

Q 就農時に 苦労したこと

ピーマンの収穫、選別と日々の管理作業などやらなければならないことが多い、作業をうまく回しきれずに苦労しました。

また、資材や機材などの初期投資はかなりかかるので資金面での苦労もありました。

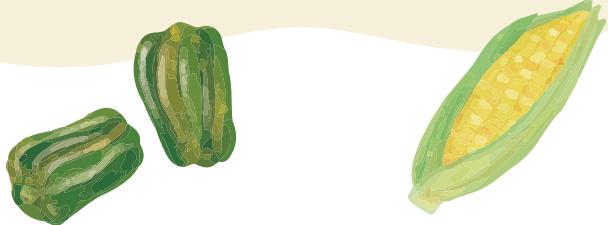


Q

就農前の想像と違ったこと

実際にやってみると色々な資材・機材が必要で、思っていた以上に資金がかかりました。

また、収穫期は収穫作業と選別、さらには栽培管理を並行して行わなければならず、就農前に考えていたよりも作業量も多くなりハードでした。



Q

前職と比べて 農業の良いところ

人間関係のストレスがなく、周りの方も温かく見守ってくださるのでとても良い環境の中で働かせていただいていると思います。

農業を通して色々な方と知り合う機会も増え、人とのつながりが広がりました。

自然の中で体を動かし汗をかく仕事なのでダイエットにもなりました！

Q

農業の 厳しいところ

栽培品目やどんな作り方をするか、日々の作業内容など全て自分で決められるのは魅力である反面、責任も全て自分で負わなければならない厳しさがあると思います。

また、天気や環境要因に大きく影響されるのも農業の厳しさだと思います。

- 活用した事業／・JA 福島さくら農家応援団事業(JA)　・風評に打ち勝つ園芸産地競争力強化事業(県)
融資制度　・青年等就農資金(国)

※事業・融資制度名は就農当時のものであり、現在の事業・融資制度名や内容、要件等と異なる場合があります。



advice

新規就農者へのアドバイス

就農前の情報収集や研修をしっかりした上で就農されると不安なくスムーズに就農できると思います。

情報収集においては生の声を聞くことがとても役立ちますし、就農後のイメージもしやすいと思いますので、地域の農家の方などに話を聞けると参考になると思います。

資金の準備も必要になりますので、まずは自分で調べた上で、普及所や行政に相談し活用できる制度や資金はないか十分に検討されると良いと思います。

いずれにしても自分で調べるということが大切に思います。

自分で調べた上で相談することで、得られる知識も増え情報の確度も上がるでの、まずは自分で調べることをお勧めします。



Check!

就農を志す前に!!

就農相談者の心構え

- 就農までには十分な準備期間がある

農地・住宅の確保や就農計画の認定等には、1年～2年程度の時間を要することが多いので、それを見越して就農準備期間を確保しましょう！

- 就農・生活するための十分な資金がある

就農するには営農に必要な資機材を購入するため初期投資資金のほかに、経営安定までの生活費を確保する必要があります。

- 就農前に十分な技能・知識を習得する意志がある

農業経験のない方は、就農前に1～2年程度の研修を受け、しっかりと栽培技術や経営管理に関する技能・知識を習得する必要があります。

- 地域との関わりを積極的に持つ意志がある

地域活動への参加や周辺農業者との交流を積極的に行いましょう。農業のノウハウを蓄積した地域の方とのつながりは、農業経営確立の近道です。

- 農業経営計画や将来の展望に関する営農計画を作成する意志がある

自ら主体的に情報収集を行い、経営の方向性や内容を徐々に明確にしていき、農業で生活していくよう経営収支について考える必要があります。

就農相談～就農準備～就農後のフォローアップ 様々な相談に応じます！

/// 田村地域で就農するメリット ///

point
01

「田村地域就農支援プロジェクト」構成メンバー等が、一体となったワンストップ支援！

point
02

借受け可能な農地や、空き住宅等の情報、営農に必要な農業用施設・機械等の導入に向けた支援事業の情報等、タイムリーにお知らせします。

point
03

個人で購入するには負担の大きい機械は低額でレンタルもできます！（P12）

田村地域就農支援プロジェクト構成メンバー等

- 田村市
- 三春町
- 小野町
- 各農業委員会
- JA福島さくらたむら統括センター
- 株JAアグリサポートたむら
- 田村地方農業士協議会
- 田村「農」ネットワーク
- 福島県県中農林事務所田村農業普及所

就農までの流れ

就農相談

研修

就農準備

就農

就農相談者の対応

めざす農業経営像を考える

どんな作物が作りたいか、どの程度の所得を得たいか、どんな暮らしがしたいかを就農相談時にお聞かせください。

田村地域に足を運ぶ

自分の理想のイメージと就農後のミスマッチを防ぐため、現地見学会やお試し就農体験会に参加しましょう。

就農後のビジョンを明確にする

いつ・どこで・どんな農業を始めるか等の就農後のビジョンをより明確にし、その実現に向け、研修計画や準備スケジュールを立てます。

長期研修を実施する

目指す農業経営に必要な栽培技術や知識を習得するため、必ず長期研修を受けましょう。

本格的な就農準備

研修と並行し、概ね就農1年前から就農に必要なものの確保や手続きを進めましょう。

青年等就農計画(P10)の立案

将来の目標に即し、経営形態・経営規模・所得等について年次毎に経営目標を立て市町から認定を受けます。

- 販売先の拡大
- 栽培技術等の研鑽
- 地域の農業者との交流

田村地域就農支援プロジェクトの対応

相談者の聞きとりを丁寧に行った上で田村地域におけるきめ細やかな就農支援の情報を提供します。

田村地域をより深く知つてもらうため、先輩農家の話や実際に農作業を行う現地見学会等を開催しています。

より詳しく農業という職業を知つてもらうため、短期(1泊2日程度)のお試し就農受け入れも行っています。

相談者の準備状況に応じて、面談を重ね、専門的な視点から研修計画や準備スケジュールの作成を支援します。

相談者の意向に合わせ、研修先(P11)との受入調整を行います。

定期的に研修先を巡回しフォローアップを実施します。また、座学による農業簿記等の研修等も開催し、就農に向けた準備を支援します。

農地・住居等の情報提供・斡旋、営農に必要な資機材に関する助言、各種支援事業(P9~10)に関する情報を提供し活用を支援します。

専門的な視点から、就農から5年後までの経営の発展、目標の設定について助言し、青年等就農計画(P10)の立案を支援します。

- JA等への加入
- 定期巡回によるフォローアップ
- 新規就農者交流会や各種研修会の開催

就農してからも先輩農業者の紹介や定期巡回を実施し常時サポートします!

支援事業一覧

活用段階	事業・制度名	事業・制度内容	主な要件
相談 ↓	ふくしま移住希望者支援 交通費補助金	福島に移住する際に必要な現地調査・現地活動を行った場合に、その 交通費の実費または定額を補助 する	・福島県外に居住している18歳以上、福島県内への移住を検討している ・事前に移住推進員と要面談(オンライン可) ・市町村移住相談窓口または福島県移住コーディネーターとの面談を実施
研修 ↓	新規就農者育成総合対策 (就農準備資金)	農業技術の習得のための研修を受ける場合、 年間最大150万円を最長2年間交付 する	・就農時予定年齢が原則49歳以下で研修後1年以内に就農すること ・研修先は県が認定したものに限る ・研修期間は概ね1年以上、年1,200時間以上 ・前年の世帯所得が600万円以下
就農～ 就農後	新規就農者育成総合対策 (経営発展支援事業)	機械・施設、家畜導入、果樹の新・改植、機械等リース料等の 初期投資的な経費	・独立・自営就農時の年齢が49歳以下の認定新規就農者 ・本人負担分について、融資を受けていること
	新規就農者育成総合対策 (経営開始資金)	新規就農者に対し 経営開始1～3年目 年間150万円を交付 する(夫婦の場合は1.5倍額)	・独立・自営就農時年齢が原則49歳以下の認定新規就農者 ・経営開始5年目までに農業で生計が成り立つ実現可能な計画を策定している ・前年の世帯所得が600万円以下
	青年等就農資金	営農に必要な資金を 最大3,700万円無利子で貸付 する。返済期間は17年以内(うち5年は据置期間)	・認定新規就農者

※補助事業・融資制度の利用には、上記要件以外のその他要件を満たす必要があります。また、融資制度は審査を受けることとなります。
※上記事業・融資制度は令和6年度の内容から抜粋しています。年度によって要件等が変更になる可能性があります。

認定新規就農者になることで
各種支援事業等の活用が見込めます!

認定新規就農者とは?

認定新規就農者とは、それぞれ市町村の区域内において、新たに農業経営を営もうとする青年(※)等であって、青年等就農計画(P10)を作成して市町村から認定を受けた者。

※青年(原則18歳以上45歳未満、ただし、やむを得ない事情があり市町村が認める場合は50歳未満)、知識・技術を有する者(65歳未満)、これらの者が役員の過半を占める法人

※農業経営を開始してから一定期間(5年)以内の者を含み、認定農業者を除く

就農～就農後に活用できる各市町及びJAの独自支援事業

市町名	事業名	事業・制度内容	主な要件
田村市	新規就農者経営発展 支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・青年等就農計画を達成するために必要な農業用機械・資材等の購入等に対し支援を行う ・補助率:定額(10/10)※上限50万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・青年等就農計画の認定を受けた者 ・青年等就農計画における2年目の作付を行う者
	農業者スキルアップ 支援事業	<p>(短期研修タイプ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営スキルの向上を目的とした先進地等への視察研修に対し支援を行う。 ・補助率:定額 ※上限5万円 <p>(長期研修タイプ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定新規就農者を目指す方が行う2か月以上の研修にあたり、旅費等の支援を行う ・対象経費:旅費、傷害保険料 ※上限5万円 	<ul style="list-style-type: none"> ・田村市内で新規就農した者、もしくは市内で新規就農を計画している者 ・65歳以下
三春町	新規就農者応援給付 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・認定時に30万円、認定から1年経過したときに20万円、2年経過したときに10万円を交付する 	<ul style="list-style-type: none"> ・青年等就農計画の認定を受けた者 ・認定時の年齢が65歳未満の者
	新規就農者等住居費 補助事業	<ul style="list-style-type: none"> ・申請から24か月間の家賃に対し支援を行う ・補助率:月額の1/2以内、月額2万円を上限 	<ul style="list-style-type: none"> ・三春町内で独立就農し若しくは三春町内の農業法人等に就農し、又は三春町内の就農に係る研修を受講している者で、その期間が2年を超えないもの ・三春町内に転入した満50歳未満の者 ・町民税等の滞納がないこと ・上記新規就農者応援給付事業を受けない者
小野町	夢のある農業者育成 推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・就農後1年を経過したときに10万円、2年経過したときに20万円、3年を経過したときに30万円の計60万円を支援金として交付する 	<ul style="list-style-type: none"> ・小野町内の50歳以下の新規就農者等 ・農業研修生に対しても新規就農者と同様に扱うものとする
JA	JA 福島さくら 農家応援団事業	<ul style="list-style-type: none"> 新規に栽培を始める生産者に対して種苗費、元肥、初期生産資材に対して助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・共販出荷者・直売所登録会員で、共販の場合は、新規に栽培を始める者とし直売所の場合は、新規登録者とする。他

※補助事業・融資制度の利用には、上記要件以外のその他要件を満たす必要があります。また、融資制度は審査を受けることとなります。
※上記事業・融資制度は令和6年度の内容から抜粋しています。年度によって要件等が変更になる可能性があります。

青年等就農計画とは？

【計画の内容】

青年等就農計画とは、就農から5年間の営農計画で、市町村が認定します。内容は経営品目、経営規模、所得等の目標を記載します。

【認定の要件】

市町村は、申請された青年等就農計画が次の要件を満たす場合に、その計画を認定します。

- (1) その計画が市町村の基本構想（所得目標等）に照らして適切であること
- (2) その計画が達成される見込みが確実であること 等



田村地域の農業研修先

田村市 (株)JAアグリサポートたむら

【代表】
櫻田 春夫

研修品目
トマト、イチゴ、
プロッコリー、
スナップエンドウ 等



三春町 (株) OFs-Link

【代表】
大内 俊昌

研修品目
きゅうり、
トマト、
カブ 等



田村市 咲倉ナーセリー

【代表】
箭内 倉貴

研修品目
野菜苗、トマト、
その他の野菜類



小野町 (株)伸ちゃん牧場

【代表】
長谷川栄伸

研修品目
肉用牛(肥育)



田村市 新田 浩

研修品目
ピーマン



小野町 吉田 政美

研修品目
ニンニク
(加工を含む) 等



田村市 新田 秋次

研修品目
キウ、
リンゴ



小野町 橋本 浩幸

研修品目
酪農
(生乳、乳子牛)、
肉用牛(繁殖)



三春町 グリーンファーム込木

【代表】
安部 昭市

研修品目
ピーマン、
ホウレンソウ、
プロッコリー、
ふきのとう等



小野町 吉田 仁

研修品目
コマツナ



田村地域の就農関連情報

01

就農関連情報 特設ページ



田村地域農業の概要、おすすめ就農品目についての情報が掲載されています。

02

お試し就農体験に 参加しませんか？



本格的な就農、研修開始の前に、日帰り・1泊2日程度のお試し就農体験に参加しませんか？

03

レンタル可能な農業機械



耕耘、うね立てなどのひと通りの畑作業が行えます。



トラクターより細かい作業が可能で、栽培ハウス内の作業でも大活躍！



野菜苗の植え付け作業が簡単に行えます。



手押しの播種作業の作業性向上と労力負担軽減が可能です。

田村地域では、新規就農者がレンタル可能な農業機械があります。就農後、経営に必要な農業機械を少しづつ揃えていくことで初期投資費用を抑えることができます！

就農相談先



小野町役場 産業振興課
連絡先: 0247-72-6938



田村市役所農林課
連絡先: 0247-81-2511



三春町役場 産業課
連絡先: 0247-62-2112



JA福島さくら
たむら統括センター 営農課
連絡先: 0247-82-6171



県中農林事務所
田村農業普及所
連絡先: 0247-62-3113

就農地域がお決まりの方は該当市町へご相談ください。
就農地域や品目でお悩みの方はJA、田村農業普及所までご相談ください。

田村地域 暮らしの情報

Tamura Living information

MIHARU

[教育機関]

- 幼稚園・保育園等施設…7施設
- 小学校…6校、中学校…2校、
高等学校…1校、私立専門学校…1校

[医療機関]

- 公的医療機関…1カ所
- 民間医療機関…8カ所

[主な商業施設・スーパー等]

- ヨークベニマル三春店、三春の里田園生活館等

買い物・飲食店等 BRITOMART(三春町)

“職人のものづくり”をコンセプトに、空間から商品まで手作りにこだわったレストランやベーカリー、カフェ、インテリア、ローカルフードセレクトショップなどが融合したコラボレーションストア



娯楽施設

リカちゃんキャッスル(小野町)

リカちゃんの博物館と人形の製造工程を見学できるオープンファクトリーを併設したテーマパークで、お城の庭園でのお散歩も魅力です。



自然が豊かで穏やかな田園地域だけど
暮らしに必要な施設やちょっとしたおでかけ先も
ちゃんとあって意外と近い！



ONO

[教育機関]

- 幼稚園・保育園等施設…2施設
- 小学校…1校、中学校…1校、
高等学校…1校

[医療機関]

- 公的医療機関…1カ所、民間医療機関…6カ所

[主な商業施設・スーパー等]

- おのショッピングプラザ、
ヨークベニマル小野町店等

TAMURA

[教育機関]

- 幼稚園・保育園等施設…13施設
- 小学校…7校、中学校…6校、
高等学校…1校

[医療機関]

- 公的医療機関…4カ所、
- 民間医療機関…14カ所

ムシムシ
ランド●

●古代亀石

行司ヶ瀧

●グリーンパーク都路

田村市 TAMURA City

●田村市大越
つつじヶ丘公園

川内村

●入水鍾乳洞

菅谷

●あぶくま洞

神俣

夏井

いわき市



*
郡山の
大型
直売所

●愛情館 (郡山市)

県内売上げ額トップクラスの直売所

●あぐりあ (郡山市)

2021年に新設されたばかりの直売所

[主な商業施設・スーパー等]

- ふねひきパーク、メガステージ田村、
リオンドール船引店等

娯楽施設

グリーンパーク都路 (田村市)

「緑とホップの風が感じられるブルワリー」(ホップジャパン) 常時4~5種類のクラフトビールが提供され、外遊び用の遊具貸出もあります。マルシェなどのイベントも開催されます。



Farmer's Store

直 売 所 情 報

ふあせるたむら (田村市)

田村地域のJAファーマーズマーケット。国道近くにあり、農業者としての販売先としてももちろん日々のお買い物にも活用できます。伊ートインコーナーのピザやジェラートが評判。ふあせるたむらへの出荷で、郡山などの消費地圏にある大型直売所(※)への出荷も可能です。



三春の里 かご市 ~三春の里田園生活館~ (三春町)

宿泊・娯楽施設等が併設されており、観光客だけでなく地元の人も足を運ぶ直売所です。四季折々にイベントも開催されます。



おのげんき (小野町)

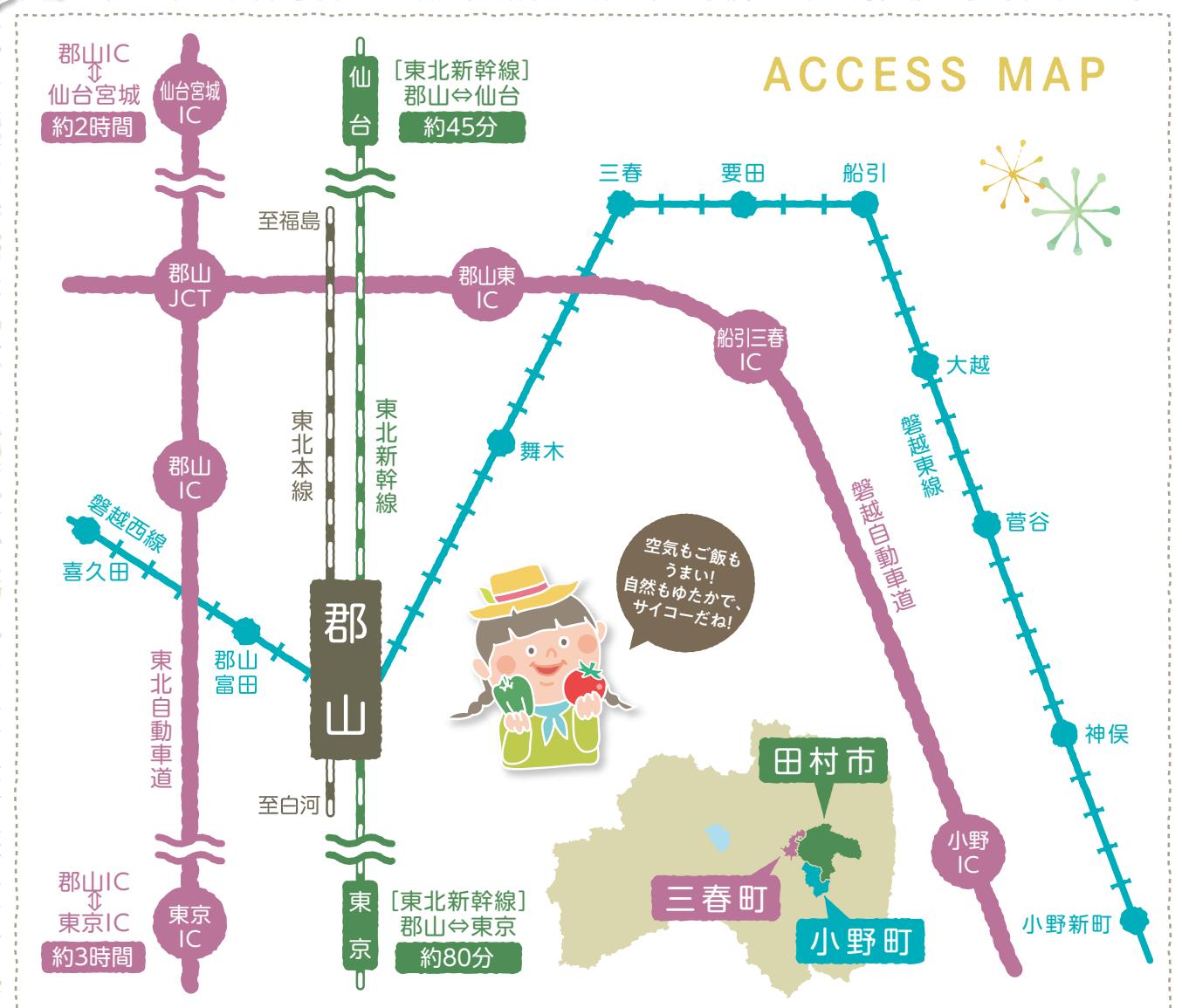
いわき市に向かう国道沿いに設置された直売所です。地元の農産物を中心に地元和菓子店のお菓子や惣菜も取り扱っています。



あなたが望む農業がここにある。

福島県 たむら地域

ACCESS MAP



ACCESS

田村市 TAMURA

- JRで ■ 東北新幹線で約80分(東京⇒郡山)
磐越東線で約30分(郡山⇒船引)

お車で ■ 東北自動車道→磐越自動車道ご利用の場合
浦和ICから郡山ICまで約2時間40分
郡山JCTから磐越自動車道で
船引三春ICまで約20分、小野ICまで約30分
■ 福島空港から約40分

三春町 MIHARU

- JRで ■ 東北新幹線で約80分(東京⇒郡山)
磐越東線で約13分(郡山⇒三春)

お車で ■ 東北自動車道・磐越自動車道で約3時間30分
(東京IC⇒郡山JCT⇒郡山東IC)
■ 常磐自動車道・磐越自動車道で約3時間
(東京IC⇒いわきJCT⇒船引三春IC)
■ 福島空港から約40分

小野町 ONO

- JRで ■ 東北新幹線で約80分(東京⇒郡山)
磐越東線で約50分(郡山⇒小野新町)

お車で ■ 東北自動車道→あぶくま高原道路で約2時間30分
(川口JCT⇒矢吹IC⇒小野IC)
■ 常磐自動車道・磐越自動車道で約2時間15分
(三郷IC⇒いわきJCT⇒小野IC)
■ 福島空港から約20分

就農相談先

田村市産業部農林課 TEL.0247-81-2511
三春町産業課 TEL.0247-62-2112
小野町産業振興課 TEL.0247-72-6938

JA福島さくらたむら統括センター営農課 TEL.0247-82-6171
福島県農林事務所田村農業普及所 TEL.0247-62-3113
株式会社JAアグリサポートたむら TEL.0247-76-1022